

まん延防止等重点措置の延長について

道内の新規感染者数は減少が続いているものの、医療機関等での集団感染も依然として相次いでおり、病床使用率は高止まりとなっているほか、より感染力の強いオミクロン株の BA.2 系統の感染事例も確認されるなど、予断を許さない状況が続いています。

こうしたことから、北海道を対象とするまん延防止等重点措置は3月21日まで延長となりました。

新規感染者数をさらに減少させ、医療の負荷を着実に抑えていくため、感染リスクの高い行動を控え、基本的な感染防止行動の徹底をお願いします。

また、就職や卒業・進学の時期を迎え、人の移動や会食の機会が増えることから、こうした場面においても、感染防止行動の徹底をお願いします。

○日常生活での注意点

「3つの密（密閉・密集・密接）」の回避や「人と人との距離の確保」、「マスクの着用」「手洗いなどの手指消毒」をはじめとした基本的な感染防止行動を実践しましょう。

また、気温の下がる冬は窓を閉め切りがちになりますが、密閉された空間は感染リスクが高まることから、換気を徹底しましょう。

○体調の変化や感染に不安を感じたときは

発熱等の症状がある場合は、外出や移動を控え、かかりつけ医や診療・検査医療機関への受診や、北海道新型コロナウイルス感染症健康相談センター(Tel0120-501-507)へご相談ください。

道では、感染の不安がある方などを対象に、無料で検査を実施しています。ワクチン接種の有無にかかわらず、無症状の方であっても受けることができますので、不安を感じる方は検査を受けましょう。

○外出のときは

混雑した場所や感染リスクが高い場所への外出・移動を控え、普段会わない方や重症化リスクの高い方と会う際には、基本的な感染防止対策をさらに徹底しましょう。

他の都府県への不要不急の移動は、極力控えましょう。

○飲食の際は「少人数・短時間・深酒せず・大声出さず・会話はマスク」

営業時間の変更を要請した時間以降、飲食店等の利用を控えましょう。

北海道飲食店感染防止対策認証店など、感染防止を徹底している飲食店等を選び、4人以内など少人数、短時間で、深酒をせず、大声を出さず、会話の時はマスクを着用しましょう。

また、特に普段会わない方との飲食の際は、より一層徹底しましょう。

利用の際には、飲食店等が実施する感染防止対策に協力しましょう。

令和4年（2022年）3月7日

空知総合振興局長、夕張市長、岩見沢市長、美唄市長、芦別市長、赤平市長、三笠市長、滝川市長、砂川市長、歌志内市長、深川市長、南幌町長、奈井江町長、上砂川町長、由仁町長、長沼町長、栗山町長、月形町長、浦臼町長、新十津川町長、妹背牛町長、秩父別町長、雨竜町長、北竜町長、沼田町長

▼道内の感染状況



▼診療・検査医療機関



▼無料検査の実施機関



▼感染防止対策認証店



お問い合わせ先

空知総合振興局地域創生部地域政策課

Tel 0126-20-0030